

横浜美術館 2026年 展覧会スケジュールが決定！



撮影：新津保建秀

2026 年、横浜美術館は2つの企画展を開催します。

1 つ目は「没後 110 年 日本画の革命児 ^{いまむらしこう} 今村紫紅」です。本展は明治の末から大正期に活躍した画家・今村紫紅の 40 余年ぶりの大規模な回顧展です。

未公開作品や国指定重要文化財を含む約 150 点の展示とともに、35 年の短い生涯を濃密に生きた紫紅の創作をたどります。

2 つ目は「マリー・アントワネット・スタイル」です。マリー・アントワネットが生きた時代のドレスや宝飾、インテリアの展示を通し、王妃の先進性やその歴史的な意義を探ります。そして、彼女の「スタイル」がいかに多くの人々——現代のクリエイターたちにさえ——影響を与えているかも紹介します。本展はヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン）が企画した世界巡回展で、横浜美術館はその最初にして日本で唯一の会場となります。

この2つの企画展のそれぞれの会期に合わせて、横浜美術館が誇る多彩な収蔵作品を紹介するコレクション展も開催します。

これらの展覧会を、ぜひ多くの方にお楽しみいただきたく、広く報道いただければ幸いです。

※2025 年 9 月時点の予定のため、今後変更が生じる場合もございます。

■企画展

没後 110 年 日本画の革命児 今村紫紅	2026 年 4 月 25 日（土）－6 月 28 日（日）
マリー・アントワネット・スタイル	2026 年 8 月 1 日（土）－11 月 23 日（月・祝）

※各展覧会の詳細は添付資料をご覧ください

■コレクション展

横浜美術館 2026 年コレクション展	2026 年 4 月 25 日（土）－6 月 28 日（日）
横浜美術館 2026 年コレクション展	2026 年 8 月 1 日（土）－11 月 23 日（月・祝）

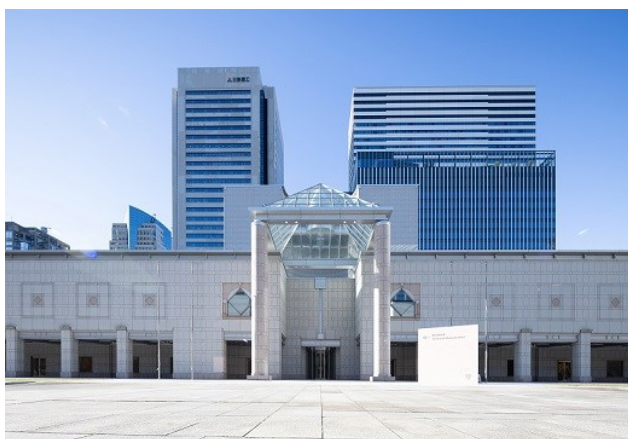
本件についてのお問合せ先 ＊本日は 17 時 15 分まで在席しております。

横浜美術館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】 経営管理グループ 担当グループ長 広報担当	横浜市内西区みなとみらい 3-4-1 水谷 高野、高橋、岩見屋	Tel 045-221-0300(代表) Tel 045-221-0368 Tel 045-221-0319
--	---------------------------------------	--

2025 年 9 月 26 日



横浜美術館 2026 年 展覧会スケジュールのご案内



横浜美術館 撮影：新津保建秀

2026 年、横浜美術館は 2 つの企画展を開催します。また、それぞれの会期に合わせて、横浜美術館が誇る多彩な収蔵作品を紹介するコレクション展も開催します。

これらの展覧会を、ぜひ多くの方にお楽しみいただきたく、広く報道いただければ幸いです。

※2025 年 9 月時点の予定のため、今後変更が生じる場合もございます。

■企画展

没後 110 年 日本画の革命児 今村紫紅	2026 年 4 月 25 日（土）－6 月 28 日（日）
マリー・アントワネット・スタイル	2026 年 8 月 1 日（土）－11 月 23 日（月・祝）

■コレクション展

横浜美術館 2026 年コレクション展	2026 年 4 月 25 日（土）－6 月 28 日（日）
横浜美術館 2026 年コレクション展	2026 年 8 月 1 日（土）－11 月 23 日（月・祝）



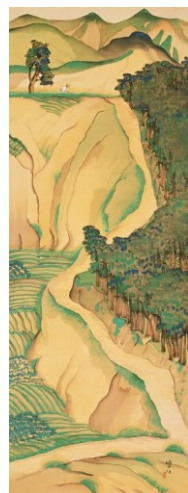
企画展ラインナップ

没後 110 年

日本画の革命児 今村紫紅

2026 年 4 月 25 日 (土) — 6 月 28 日 (日)

明治の末から大正初期に活躍した画家・今村紫紅（1880-1916）の 40 余年ぶり、かつ公立美術館では初の大回顧展。平安時代から続く伝統的なやまと絵を学び、若くして歴史画において高い技量を示した紫紅は、やがて、日本画の革新を志します。琳派の俵屋宗達などの自由闊達な絵に刺激を受け、さらに南画（中国・江南地方の絵画に影響を受けて江戸後期に栄えた山水画）や、西欧の印象派などの新しい表現を取り入れて、風景画に強烈な個性を発揮しました。《熱国之巻》や《近江八景》（いずれも国指定重要文化財、本展出品予定）に代表される綿密かつ大胆な筆づかいと構図、明るい色がその特徴です。35 年の生涯を力強く駆け抜けた紫紅の創作の軌跡を、初公開作品を数多く含む約 150 点でたどります。



左：今村紫紅《潮見坂》（一幅、大正 4 年〔1915〕、112.5×42.0 cm、横浜美術館所蔵）
右：今村紫紅《護花鈴》（六曲屏風一双〔図は部分〕、明治 44 年〔1911〕、170.2×364.4 cm〔各隻〕、霊友会妙一コレクション所蔵）※会期中展示替えあり

主催：横浜美術館、毎日新聞社、TBS グロウディア

マリー・アントワネット・スタイル

2026 年 8 月 1 日 (土) — 11 月 23 日 (月・祝)

歴史上もっともファッショナブルな王妃、マリー・アントワネット。時代の「ファッション・アイコン」となった王妃の装いやインテリアは、18 世紀から現代まで、ファッションやデザイン、映画などに広く影響を与えてきました。本展は、アントワネット時代のドレスや宝飾、家具などを手がかりに、あらゆる点で新しい様式（スタイル）をうちたてていった王妃の革新性と、その人物像に迫ります。さらに、王妃が形づくった「スタイル」の源泉が、いかに時代を超えて人々を魅了し、現代のクリエイターたちにも示唆を与え続けてるかについて紹介します。

本展はヴィクトリア&アルバート博物館（ロンドン）で企画された世界巡回展です。横浜美術館はその最初かつ国内唯一の会場となります。

主催：横浜美術館、ヴィクトリア&アルバート博物館、読売新聞社



コートドレスのマリー・アントワネットの肖像
フランソワ=ユベール・ドルーエ（画）、1773 年、油彩、カンヴァス、
63.5×52.0 cm、ヴィクトリア&アルバート博物館所蔵
©Victoria and Albert Museum, London



Created by the V&A – touring the world

お問合せ先

横浜美術館 広報担当（高野、高橋、岩見屋）
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-4-1
TEL：045-221-0319 FAX：045-221-0317 Email：pr-yma@yaf.or.jp

[プレス画像申込はこちら](#)

横浜美術館